

「健康戦隊ももレンジャー」

自治体情報

人 □ 49,900 人

標準財政規模 11,188,235 千円

担当課 静岡県 牧之原市 健康づくり室

電話 0548-23-0024

ホームページ <http://www.makinohara.shizuoka.jp>

事業期間 平成 20 年度から

参考とした施策

関係施策分類

施策の概要

1 取り組みに至る背景

平成 20 年 4 月から始まった特定健診の受診希望や実際の受診状況、また特定保健指導の実施状況等を見ると、一番ターゲットとしたい 40～50 歳代の受診等が少ない状況である。特に、特定健診の受診率を上げることが最大の課題であり、広く市民にアプローチすることにより、市民全体の健康意識の向上を狙っていく必要がある。

市民（特に中年層）が集まる場所へ出向き、市民の関心を惹く武器（媒体）を持ち、インパクトのある体験を戦略的に実施していく必要があると考え、中年世代への生活習慣病予防の啓発事業として「健康戦隊ももレンジャー」活動を始めた。



2 事業内容（目的・目標・方策）

市民の健康意識を高め特定健診の受診率を上げることを目的に、居酒屋、スーパーマーケット、お茶工場、イベント会場等に出向き、体組成計という内臓脂肪レベルや部位別脂肪率と筋肉量等が測定できる機器を持ち込んで、測定し、結果説明を実施する。その際には、食事バランスガイドの説明や野菜をたくさん食べてもらうための「ばばっとできる、もう 1 品野菜料理」のレシピを配布している。また、1 日に摂取したい野菜の量（350g）を実際に目で見て覚えてもらうため、会場内に野菜のフードモデルを設置している。



3 施策の開始前に想定した事業効果

本市の国民健康保険に加入している集団健診及び人間ドックの受診率は約 23 パーセントであり、平成 20 年度の市の目標受診率 40 パーセントとは大きな差異がある。「健康戦隊ももレンジャー」を通じ、健診や健康に興味を持ってもらい、受診率の向上を期待することができる。

平成 20 年度に健康戦隊ももレンジャーとして出動した実績としては、468 人（男性 226 人、女性 242 人）

の測定を行い、男性の61.5%、女性の4.1%が内臓脂肪レベル10（100㎖）を超える者であり、男性のメタボ率の高さに驚かされる結果であった。また、測定者の72%が中年層及びそれより若い層であり、狙っていた年代にアプローチすることができた。

4 導入にあたり工夫・苦労した点、課題、対処法など

“インパクト”にこだわり、保健師等が派手な衣装を着用して「健康戦隊ももレンジャー」に扮したり、数分で体のいろいろなデータが測定できて、プリントアウトされるという衝撃等、市民の心に残るようなアプローチを工夫した。また、「体験」「発見」にこだわり、1日に摂取したい野菜の量をお皿に盛り付けて実際に見て、今の自分の摂取量との比較をすることにより、いかに普段の量が少ないかを知ってもらうことを目指した。

5 現在の成果・実績、今後の展開など

平成20年度はモデル的に実施し手ごたえを得ることができたため、あと1年間は普及の年ということで、更に市民が集まる場所を求めて活動していきたいと考えている。平成21年度に予定している活動場所としては、食品衛生協会の関連事業、地域のイベントであり、新たなスーパーマーケットや飲食店の開拓も予定している。平成22年度には、21年度に市民に普及した「内臓脂肪を減らす意識を持つこと」を行政中心で行うのではなく、市内の飲食店や事業所が取り組み、協働で仕組みづくりができることを目指したい。



【関連サイト】

牧之原市ホームページ内

健康戦隊ももレンジャーがあなたのメタボ度を測定します！

<http://www.city.makinohara.shizuoka.jp/asp/mc0040.asp?eno=H965512280>



予算関連データ 牧之原市

総額 ①～⑤の計		財源内訳(財源区分:①～⑤)				
		①国費	②県費	③起債	④その他	⑤一般財源
40千円		13千円	13千円	0千円	0千円	14千円
①～④の名称・所管等	名称	健康増進事業費補助金	健康増進事業費補助金			/
	所管	厚生労働省健康局	厚生部健康増進室			
	金額	13千円	13千円			
	補助率	1/3	1/3			